

The Beginning of My Special Journey

石川夏帆/Kaho Ishikawa

この度埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム（OSGS プログラム）に参加させていただくことになりました、石川夏帆と申します。

埼玉県親善大使を委嘱していただきプログラムを開始してから1ヶ月が経ちました。この1ヶ月間プログラムを通して経験したことについて本報告書を通してお伝えしたいと思います。拙い文章になってしまいますが今後このプログラムに挑戦してみようと思っています。もちろん、このようにオンラインで海外とつながれる機会に興味がある方など様々な方に少しでもOSGSプログラムのイメージを持っていただけたら幸いです。

●授業などの各セッションについて

今回の前期OSGSプログラムでは「日米の新型コロナウイルス感染症の対応の違い」をテーマに授業が進められています。

第一回目の授業では、一緒に参加しているメンバーとともに新型コロナウイルスにより影響を受けている分野を思いっただけ列挙しました。その中からそれぞれの興味のある分野を1つ選び、その分野についての日米の違いをまとめます。私はその中から下記2つ理由で「教育」を選びました。

OSGSP Session 3

Fall 2021



図1: 授業スライド

- ① 昨年から日本語教育を学びはじめ教育そのものにも興味を持ち始めていたこと
- ② 普段の専攻である異文化間コミュニケーションと結びつける

ICE BREAK STYLE

■ JAPANESE STYLE...

Ice Break ≙ Self introduction

→name, year, major, hobby etc

→just tell about ourselves to others

→we can know each other, BUT we cannot interact with them well



図2: 学生とのセッションを行った後のプレゼンテーション

「教育」は普段自分が受けている側でもあるため身近な分野ではありますが、リサーチをしていく上で様々な統計や異国のアメリカはもちろん、自分の住んでいる日本のことも新たに知ることができるためとても新鮮です。

プログラム内の授業ではリサーチに関するだけでなく「文化」に焦点を当てたものも取り入れられています。先日行った授業では、日本とアメリカを国単位で文化を比較するだけでなく私たち自身のことも比較しました。私の性格の中にはアメリカ寄りの項目もあり興味深かったです。

フィンドレー大学の学生さんとのセッションは、お互いの国や地域のコロナの状況などの情報を交換しとても充実した回になりました。今後学生さんによるフィンドレー大学のキャンパスツアーもあるそうなので今から楽しみです。図2は学生さんとのセッションを終えてのミニプレゼンテーションの際に作成したスライドの一部です。

このように、これまで数回の授業とフィンドレー大学の学生さんとのセッションを行ってきました。先生方もとても親切で回数を重ねるごとに一緒に参加しているメンバーとの絆も深まり、とてもリラックスしてプログラムに参加することができています。そろそろプログラムも折り返し地点に近づいてきており残りの期間もあっという間にすぎってしまうと考えると今からとても寂しいです。

プログラムを通して自分の英語力の不十分さを痛感する一方、その状況が今後のモチベーションにつながっていることも実感しております。少しずつの積み重ね、失敗を恐れず常に Do my best. を念頭に置き、残りのプログラムも頑張っていきたいです。

まだまだ書き足りないことがあります…中間レポート(2)に続きます。次回のレポートも是非読んでいただけたら嬉しいです！

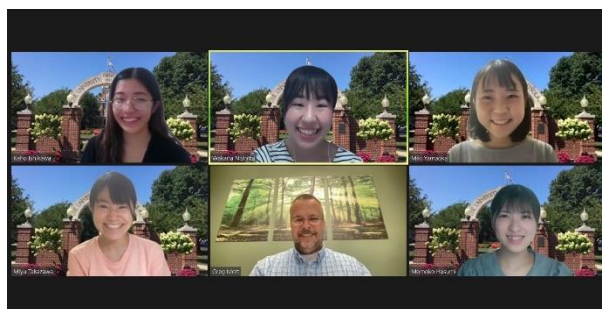


図3:先生とメンバーとの写真